

環境経営レポート

(2023年11月1日～2024年4月20日)



エコアクション21[®]
認証番号 0014321



株式会社

土佐製作

発行日： 2024年9月20日

1.目次

1. 組織概要

2. 実施体制

3. 環境経営方針

4. 環境経営目標

5. 環境経営計画

6. 環境目標とそれに向けた取り組み、実績評価と次年度の取り組みについて

7. 次の取組の環境経営目標及び環境経営計画

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並び違反訴訟などの有無

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

2. 組織概要

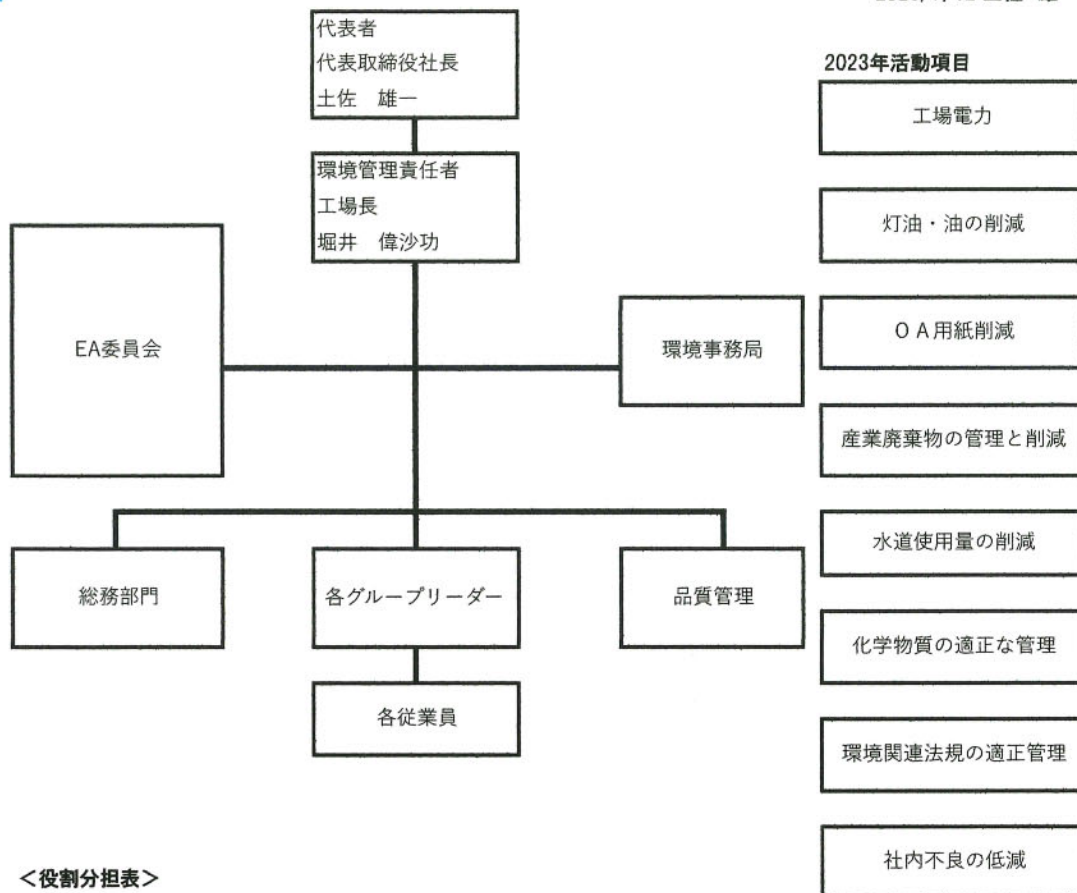
会社概要

事業所名	株式会社 土佐製作
代表者	代表取締役社長 土佐雄一
所在地	本社 神奈川県川崎市幸区塚越3-380 秋田工場 秋田県秋田市川尻町字大川反170-25
事業の規模	従業員数:44名(本社5名含む) 延べ床面積:計3,068.17(本社:114.8㎡、工場:2,953.37㎡)
資本金	1500万
事業内容	金属部品の機械加工
環境管理責任者	環境管理責任者:工場長 堀井偉沙功 TEL:090-8057-7242 FAX:018-864-1892
事務局担当者	製造部副部長: 澤井貴也 TEL:070-4535-7355 FAX:018-864-1892
対象範囲	認証・登録対象組織:土佐秋田工場 *2028年までには本社も取り組み予定
レポート期間	対象期間:2023年11月1日～2024年4月20日 発行日:2024年9月20日

3.環境経営計画に基づき実施した取組内容(実施体制を含む)

実施体制図

2023/7/12 土佐 雄一



<役割分担表>

担当	各自の責任と役割
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・総括（環境経営システム・緊急事態発生時等） ・課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定 ・実施体制を構築する ・経営資源の準備 ・全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築・実施・維持管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境目標・環境活動計画書の確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動計画原案の作成 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告実績集計 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成及び公開 ・緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練の実施、記録の作成
EA委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境事務局の補佐 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・委員会で策定した環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営方針

環境経営方針

私たち株式会社土佐製作は、世界中のインフラ整備、発展の為に尽力して参りました。この豊かな自然を後世に伝えていく為に環境問題への対応が喫緊の課題であるという認識を持ち、当事業部の事情活動のあらゆる分野で社会に貢献することを目指しています。当事業活動においては、社員が次世代に技術・技能を引き継げるように、職場・工場現場の環境整備に努めます。生物多様性の考慮、環境関連法規の遵守により環境負荷の低減を図りつつ、環境保護活動の継続的改善に努めます。SDGsに則り「環境保護と経済活動の両立」する持続可能な社会の実現に全社一丸となって自主的、積極的に取り組む事を誓約します。

環境への行動方針

1. 低炭素社会実現の為に、二酸化炭素排出削減に取り組みます
2. 産業廃棄物のリサイクルを推進し、廃棄物削減に取り組みます
3. 水使用量と排水量の適正な管理に取り組みます
4. 化学物質の適正な管理と処理に取り組みます
5. 現場において製造資材等のグリーン購入に取り組みます
6. 現場運営において環境に配慮した省エネ運転に取り組みます
7. 社内不良の削減に努めます
8. 環境関連法規、その他の要求事項の遵守に取り組みます
9. 環境保全に関する啓蒙・啓発活動を行い、地域清掃活動などで地域社会貢献に努めます
10. 以上の方針を全従業員に周知させ全員参加で取り組みます。

令和6年9月20日

株式会社土佐製作

代表取締役 土佐 雄一

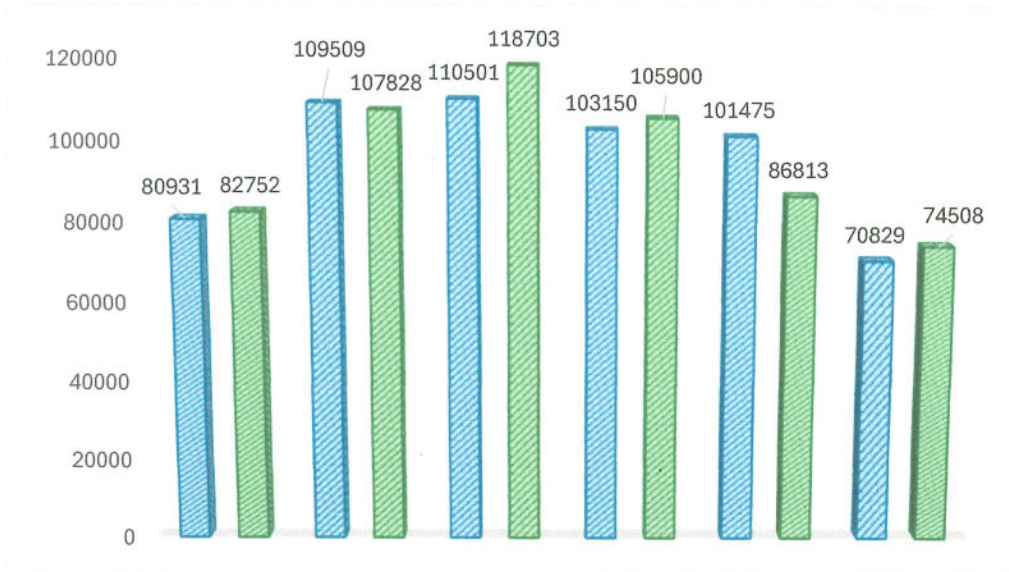
5.環境経営目標

環境経営目標

項目	単位（年間量）	基準年	基準年度内	目標	目標	
					2024年	2025年
		2022年	2022年（11月～4月）	2023年（11月～4月）		
二酸化炭素排出量	k g -CO2	519,189	582,862	581,123	508,805	503,613
		100%	100%	100%	(98%目標)	(97%目標)
電気使用量	k w h	1,029,555	576,504	576,395	1,008,964	998,668
		100%	100%	100%	(98%目標)	(97%目標)
ガソリン使用量	L	4,734	2,384	1,594	4,639	4,592
		100%	100%	67%	(98%目標)	(97%目標)
灯油使用量	L	3,751	3,564	2,782	3,676	3,638
		100%	100%	78%	(98%目標)	(97%目標)
軽油使用料	L	442	298	255	433	429
		100%	100%	86%	(98%目標)	(97%目標)
都市ガス使用量	m ³	209	112	97	205	203
		100%	100%	87%	(98%目標)	(97%目標)
産業廃棄物	k g	74,670	33,500	35,920	73,177	72,430
		100%	100%	107%	(98%目標)	(97%目標)
一般廃棄物	k g	(1,780)	(890)	842	1,762	1,744
		100%	100%	0%	(99%目標)	(98%目標)
水使用量	m ³	695	404	264	681	674
		100%	100%	65%	(98%目標)	(97%目標)
社内不良削減	件数	120	60	71	108	102
		100%	100%	118%	(90%目標)	(85%目標)

※2022年度は一般廃棄物のデータがなく、2023年を基準としそこから毎年1%削減目標

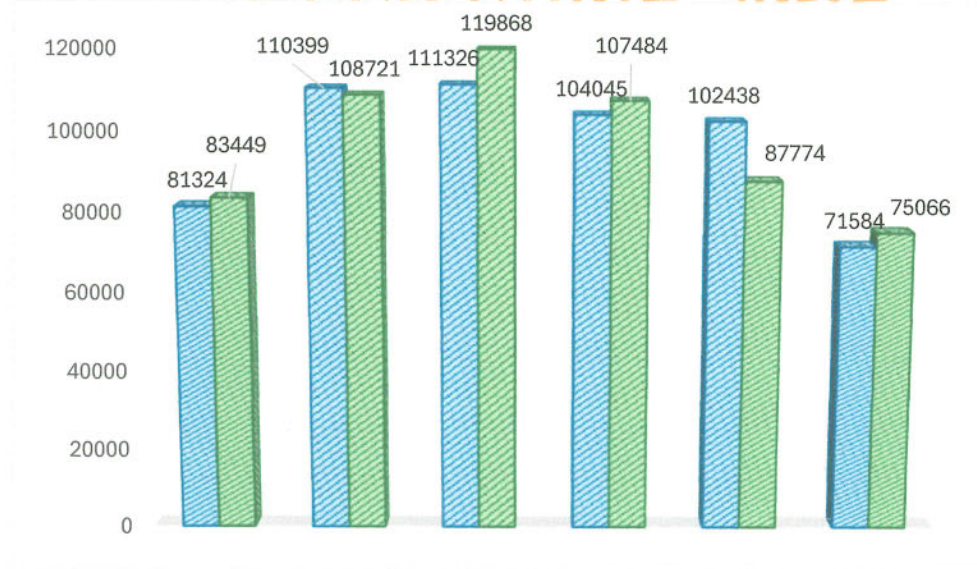
*** 電力使用量23年11月1日～24年4月20日**
基準年(22年)11月1日～4月20日



22年度(11月1日～4月20日) 合計576.504kwh
 23年度(11月1日～4月20日) 合計576.395kwh

基準年22年度(11月1日～4月20日)より23年度(11月1日～4月20日)に
 比べ109kwhの削減になりました。

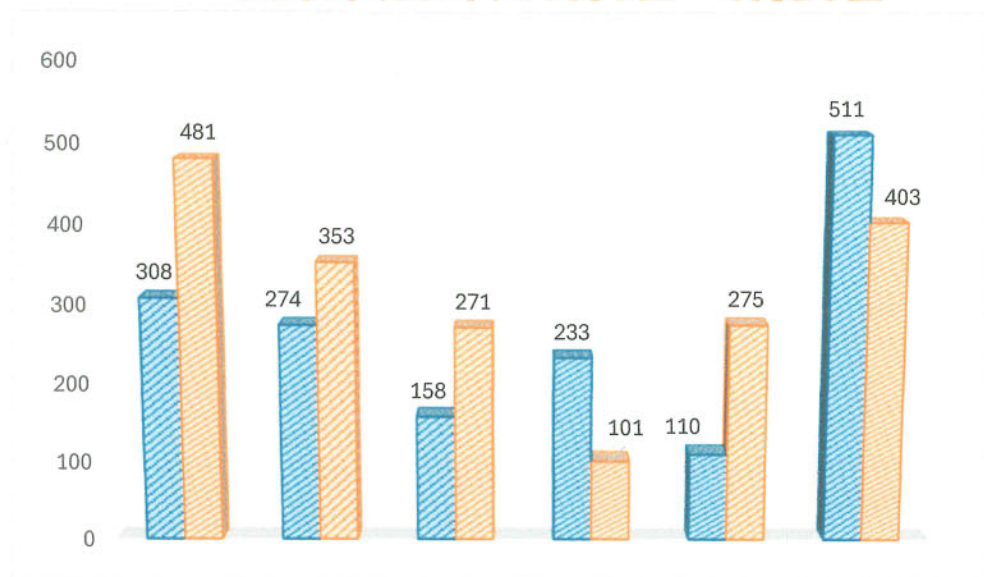
*** 二酸化炭素の排出量23年11月1日～4月20日**
基準年(22年)11月1日～4月20日



22年度(11月1日～4月20日) 合計582862kg-CO2
 23年度(11月1日～4月20日) 合計581123kg-CO2

基準年22年度(11月1日～4月20日)より23年度(11月1日～4月20日)に
 比べ1246kg-CO2の削減になりました。

*** ガソリン使用料23年11月1日~24年4月20日**
基準年(22年)11月1日~4月20日

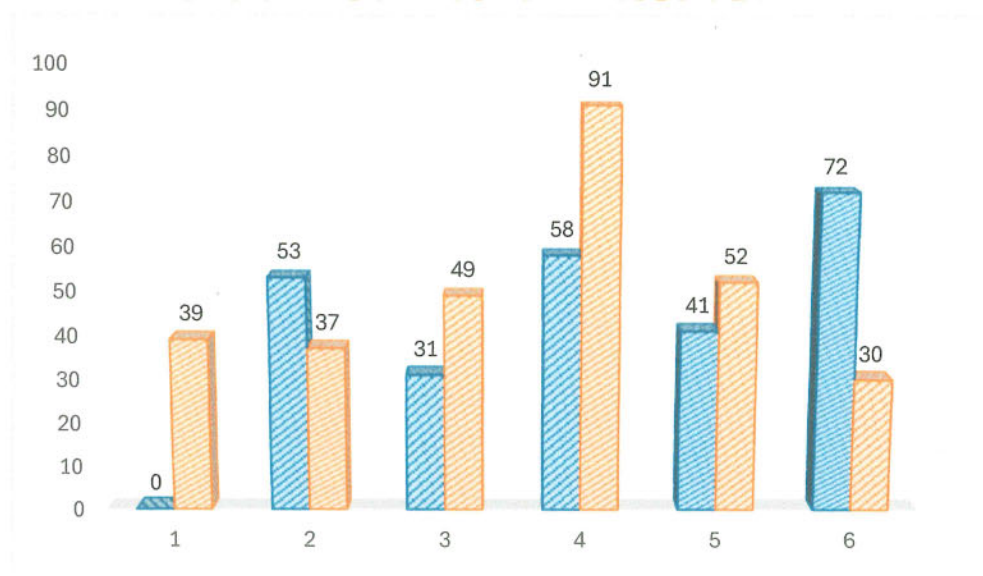


22年度(11月1日~4月20日) 合計2384L

23年度(11月1日~4月20日) 合計1594L

基準年22年度(11月1日~4月20日)より23年度(11月1日~4月20日)に
 比べ790Lの削減となりました。

*** 軽油使用量23年11月1日~24年4月20日**
基準年(22年)11月1日~4月20日

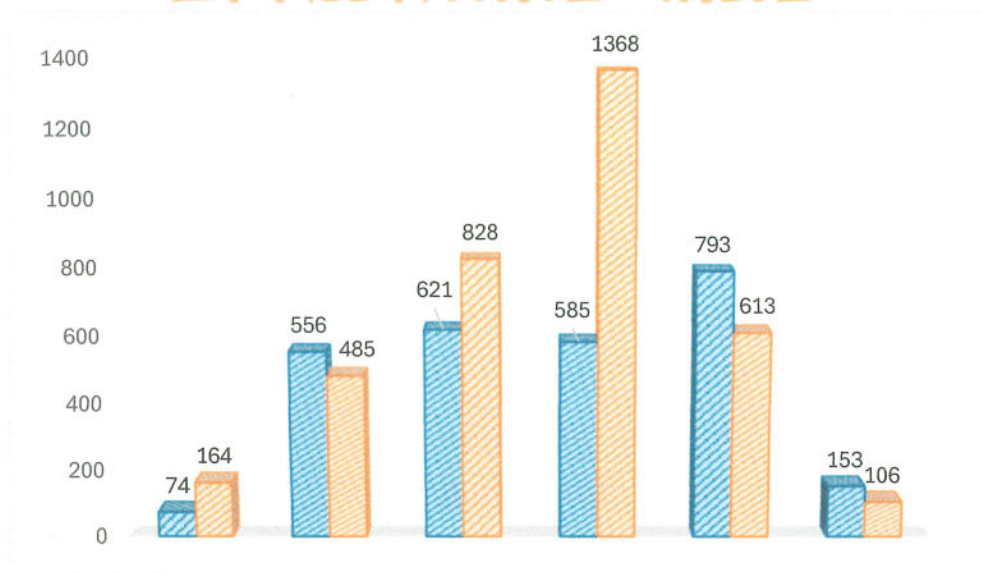


22年度(11月1日~4月20日) 合計298L

23年度(11月1日~4月20日) 合計255L

基準年22年度(11月1日~4月20日)より23年度(11月1日~4月20日)に
 比べ43Lの削減となりました。

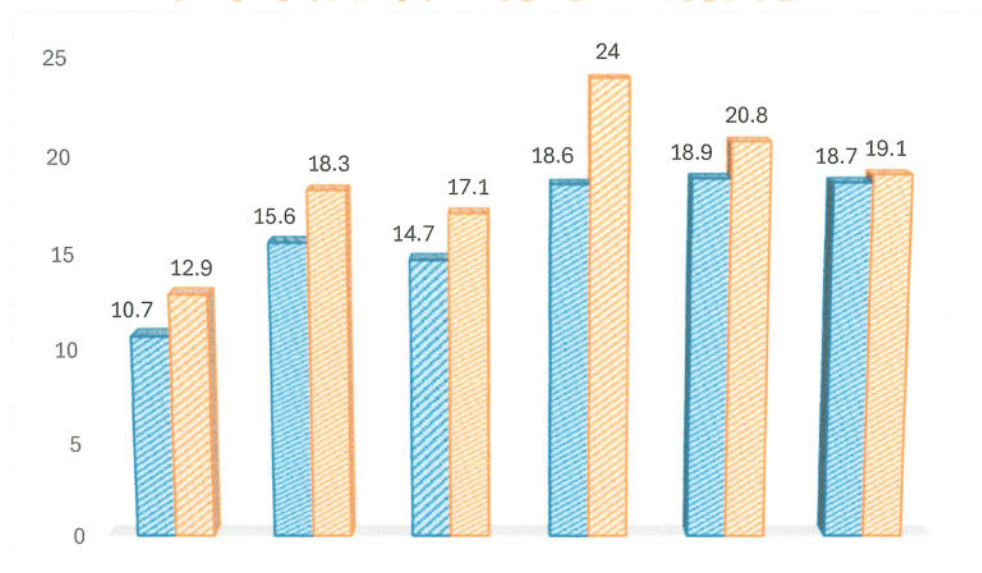
*** 灯油使用量23年11月1日~24年4月20日**
基準年(22年)11月1日~4月20日



22年度(11月1日~4月20日) 合計3564L
 23年度(11月1日~4月20日) 合計2782L

基準年22年度(11月1日~4月20日)より23年度(11月1日~4月20日)に
 比べ782Lの削減となりました。

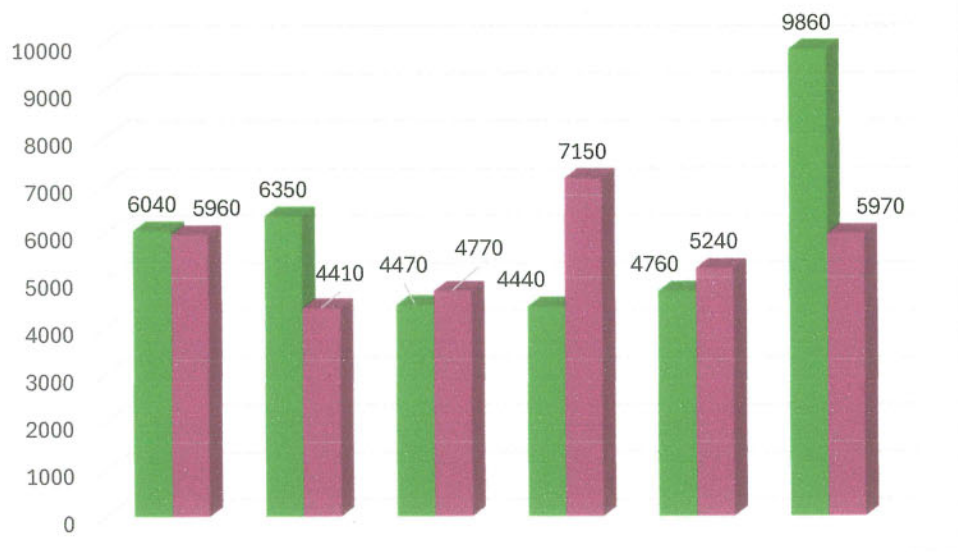
*** 都市ガス使用量23年11月1日~24年4月20日**
基準年(22年)11月1日~4月20日



22年度(11月1日~4月20日) 合計112.2m³
 23年度(11月1日~4月20日) 合計97.2m³

基準年22年度(11月1日~4月20日)より23年度(11月1日~4月20日)に
 比べ15m³の削減となりました。

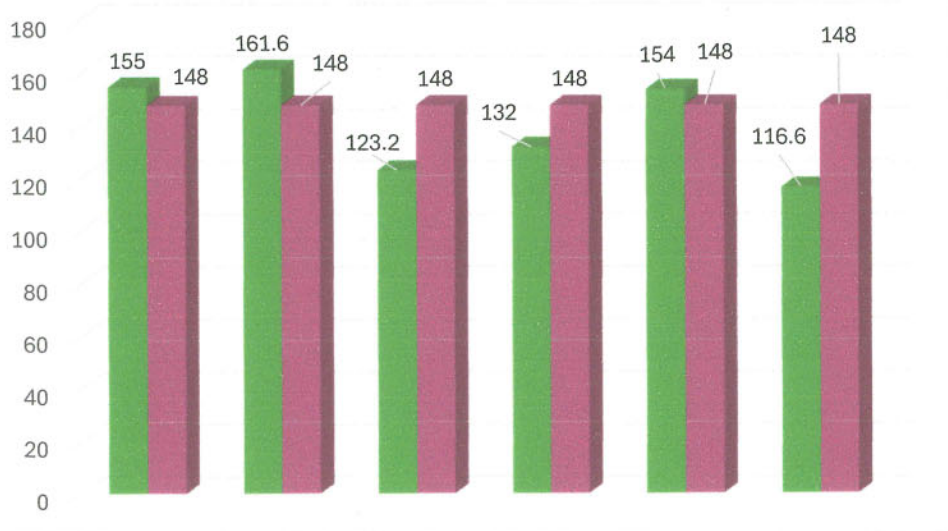
*** 産業廃棄物量23年11月1日~24年4月20日**
基準年(22年)11月1日~4月20日



22年度(11月1日~4月20日) 合計33500L
 23年度(11月1日~4月20日) 合計35920L

基準年22年度(11月1日~4月20日)より23年度(11月1日~4月20日)に比べ2420Lの増加となりました。

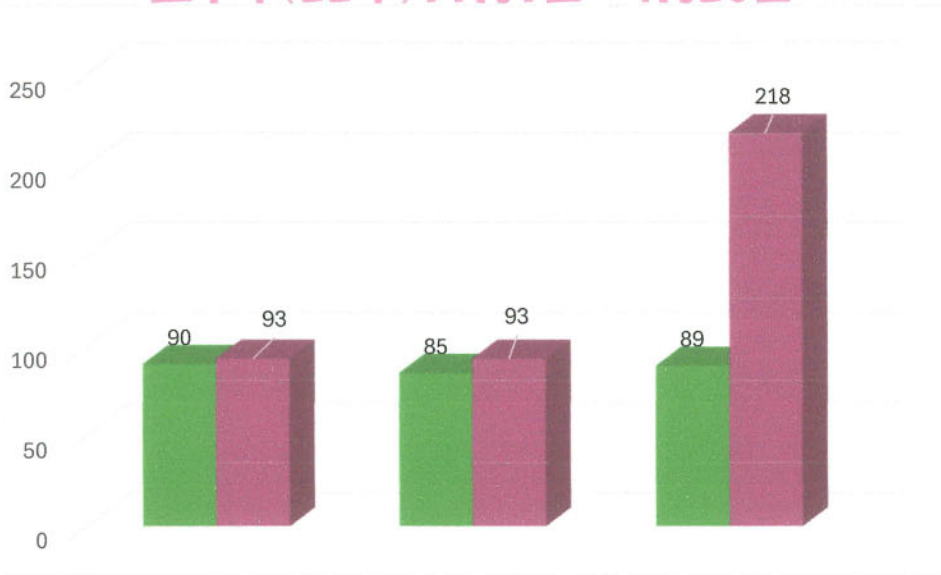
*** 一般廃棄物量23年11月1日~24年4月20日**
基準年(22年)11月1日~4月20日



23年度(11月1日~4月20日) 合計842.4L
 22年度データ無し(23年度平均値にて掲載)

※2022年度は一般廃棄物のデータがなく、2023年を基準としています。

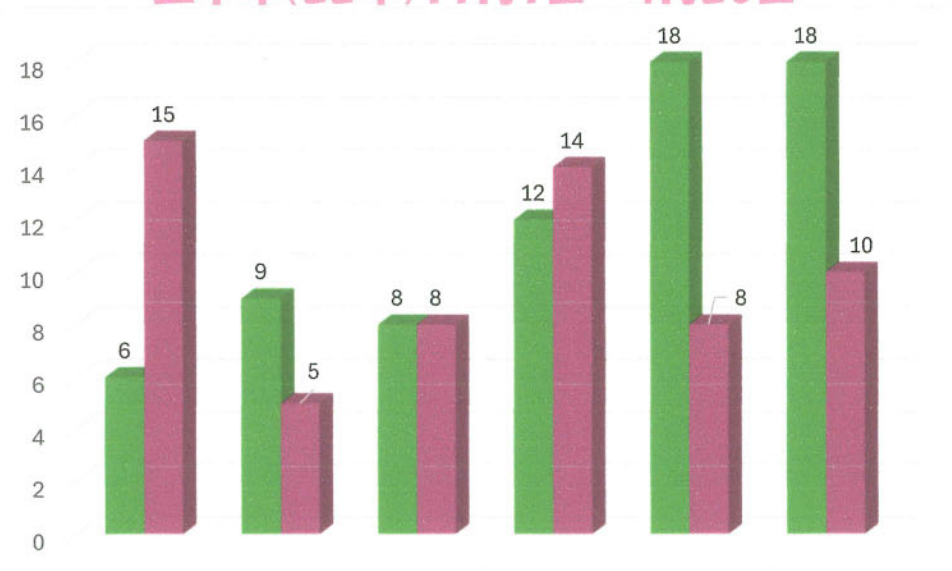
*** 水道使用量23年11月1日~24年4月20日**
基準年(22年)11月1日~4月20日



22年度(11月1日~4月20日) 合計404L
 23年度(11月1日~4月20日) 合計264L

基準年22年度(11月1日~4月20日)より23年度(11月1日~4月20日)に
 比べ140の削減となりました。

*** 社内不良数23年11月1日~24年4月20日**
基準年(22年)11月1日~4月20日



22年度(11月1日~4月20日) 合計60件
 23年度(11月1日~4月20日) 合計71件

基準年22年度(11月1日~4月20日)より23年度(11月1日~4月20日)に
 比べ11件増加となりました。

6.環境経営計画

環境経営目標と取り組み内容及び評価（2023年11月1日～2024年4月20日）

項目	実績事項	単位	基準※ 2022年	目標	実績		状況
					達成率※		
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	582,862 100%	573,033 99%	581,123 99%		○
2	電力の使用量の削減 実排出係数 0.483kg-CO2/kwh 東北電力2022年度	kwh	576,504 100%	570,739 99%	576,395 99%		○
3	灯油・ガソリン・軽油・都市ガスの使用量の削減		ガソリン 2,384 100%	ガソリン 2,360 99%	ガソリン 1,594 148%		◎
			灯油 3,564 100%	灯油 3,528 99%	灯油 2,782 127%		◎
			軽油 298 100%	軽油 295 99%	軽油 255 116%		◎
		m3	都市ガス 112 100%	都市ガス 111 99%	都市ガス 97 114%		○
4	OA用紙購入使用料の削減				行動目標	行動目標	行動目標
5	廃棄物の削減及びリサイクル向上	kg	33,500 100%	33,165 99%	35,920 92%		○
6	一般廃棄物の削減	kg	0 0%	0 0%	842 100%		◎
7	水道使用量の削減	m ³	404 100%	400 99%	264 165%		◎
8	社内不良の削減	件数	60 100%	57 95%	71 85%		×
9	サステナブル調達 の促進 推進行動				実施	実施	
10	化学物質の管理 化学物質の適正管理				適正	適正	

※達成率 = 目標値/実績値 100%以上◎ 100%～90%○ 90%～80%△ 80%以下×

※基準年は2022年11月1日～2023年4月20日とする（一般廃棄物22年度データ無し）

7. 環境目標とそれに向けた取り組み、実績評価と次年度の取り組みについて

具体的な取り組み内容について

①電力のCO2削減への取り組み

2023年11月に全体朝礼にて省エネの協力や、昼休憩時・夜間の不必要なコンプレッサーの電源や照明OFFの協力を実施

②エコドライブの導入

エコドライブ10のすすめ

1 自分の燃費を把握しよう
燃費 ? km/L

2 ふんわりアクセル「eスタート」

3 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転

4 減速時は早めにアクセルを離そう

5 エアコンの使用は適切に

6 ムダなアイドリングはやめよう

7 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

8 タイヤの空気圧から始める点検・整備

9 不要な荷物はおろそう

10 走行の妨げとなる駐車はやめよう

Check!

エコドライブ普及連絡会 策定
環境省、国土交通省、国土政策部、国土交通省、国土交通省

掲示物で注意喚起

③産廃のルールづくり



産廃や分別の注意喚起（掲示物）

④水漏れのメーターの位置と水漏れの確認

秋田水道局員と水道メータおよび水漏れの確認 2023年12月21日

⑤社内不良の削減活動

毎月生産会議後に不良の削減活動について報告と対策会議を継続実施

8.次の取組の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標と取り組み内容（2024年4月21日～2025年4月20日）

項目	実績事項	単位	基準2022年度	目標2024年度
1	二酸化炭素排出量の削減 ・以下電力、灯油・ガソリン・軽油・都市ガス の使用量の削減に努める	kg-CO2	519,189 100%	508,805 98%
2	電力の使用量の削減 ・エア－漏れの対応作業 ・節電の徹底・周知 ・不要箇所の照明の消灯 実排出係数 0.483kg-CO2/kwh 東北電力2022年度 ・P Cの電源の省エネ	kwh	1,029,555 100%	1,008,964 98%
3	灯油・ガソリン・軽油・都市ガスの使用 量の削減 ・エコドライブの周知 ・使用エネルギーの把握	L	ガソリン 4,734 100%	ガソリン 4,639 98%
		L	灯油 3,751 100%	灯油 3,676 98%
		L	軽油 442 100%	軽油 433 98%
		m3	都市ガス 209 100%	都市ガス 205 98%
4	OA用紙購入使用料の削減 目標前年行動目標継続 ・書類の簡素化 ・表裏印刷の推奨			行動目標
5	廃棄物の削減及びリサイクル向上 総排出量削減行動目標継続 ・ゴミ分別の徹底・周知 ・産業廃棄物排出量の把握 ・マニフェストの管理・保管	kg	74,670 100%	73,177 98%
6	一般廃棄物の削減 ・分別の協力	kg	1,780 100%	1,762 98%
7	水道使用量の削減 総排出量削減行動目標継続 ・冬の融雪用の水使用の廃止 ・水漏れを水道メーターにて確認	m ³	695 100%	681 98%
8	社内不良の削減 目標前年実績10%削減 ・積極的に予防活動を重視した取り組み ・測定具・工具の管理意識の向上 ・支給材についての品質意識の向上	件数	120 100%	108 98%
9	サステナブル調達の促進 推進行動 リサイクル材 材料・メタル材等の廃棄及び取り代の見直し			実施
10	化学物質の管理 化学物質の適正管理 ・シナー等の有害性の高い化学物質の 使用場所・保管場所の管理			適正

基準2022年：2022年4月21日～2023年4月20日の値の合計値

9.環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並び違反・訴訟などの有無

①環境関連法規一覧

環境関連法規への違反、訴訟等の有無について

記入者：高橋 遵守確認日2024年8月26日

1.環境関連法規、要求事項 抜粋

管理責任者：堀井 承認日2024年8月26日

	法規制等	適用条件	遵守評価
1	廃棄物処理法	・ 廃棄物適正処理	遵守
2	浄化槽法	・ 浄化槽の保守及び点検	遵守
3	フロン排出抑制法	・ 管理第1種特定製品の簡易点検	遵守
4	PRTR法	・ 特定化学物質の排出量/移動量の把握	遵守
5	消防法	・ 特定施設の届出（少量危険物貯蔵取扱）	遵守

※2024年8月23日付けにおいては、環境関連法規の遵守状況を確認し問題なし

②.違反・訴訟等の有無

当社における環境関連法規への法令違反は、特にありませんでした

2023年11月1日～2024年4月20日まで近隣住民からの苦情はありませんでした

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

評価項目

評価項目	内容
1：環境関連法の遵守状況	・違反は有りませんでした。
2：環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果	産廃、社内不良を除き、電力・ガソリン・灯油・水道使用量・不良件数は目標値達成。多品種少量の新規受注量が大幅に増加したことにより社内不良が増加し産廃も増加しました。教育訓練を実施し社内不良の削減の取り組みを継続していく。
3：問題点の是正処置及び予防処置の結果	・産業廃棄物のマニフェスト管理に課題が在りましたが、改善しました。
4：外部からの苦情等の受付結果	特になし
5：その他	一般廃棄物の管理体制の追加

上記のとおり報告します

管理責任者：堀井

代表者による評価・見直し等の指示

見直し項目	変更する必要判断	代表者による指示内容
1：環境方針	無	特になし
2：環境目標	無	特になし
3：環境計画	無	特になし
4：実施体制	有	書類作成のための事務局の増員
5：その他	無	特になし

代表者による総論

基準年度と比較し、受注高、売上、人員、設備と増加していく傾向の中で、エコアクションの活動を継続し、基準年度と比較してCO2の削減活動が出来ているということは、本当に喜ばしい出来事だと認識しています。特に電気代にかかわる部分の影響はとて大きいので引き続き環境経営という認識を浸透していき、次年度も様々な取組活動を一丸となつて、後押しして参ります。